

森や木と親しむ 6 日間

2016弟子屈町木育週間



子ども木育デーで伐採のお手伝い



創造力が養われる木のおもちゃでの遊び

2日には、北海道認定木育マイスターの萩原寛暢さんを講師に小学生を対象とした木育プログラム「木で遊ぼうー子ども木育デー」を開催。9人が参加しました。午前中、美留和地区の国有林で林業の仕事を学ぶ。午後からは林業多目的センターに移動し、木の枝を使ったカスターネット作りや、草木染め、火おこしなど、さまざまな体験を楽しみました。

期間中、町林業多目的センターに木のおもちゃや、森や木工などに関する絵本を用意して一般開放。木製の玉が入った木の砂場や木馬などたくさんのおもちゃに、訪れた親子連れや幼稚園児、保育園児などが歓声を上げていました。

町では、木育への取り組みの一環として、10月2日～7日に木育週間を開催しました。木育は北海道生まれの取り組みで、子どものころから木を身近に使っていくことを通じて、人と木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育む活動です。森林に囲まれ、共生してきた本町にとっても、大切な取り組みです。

農と食の大切さを学ぶ

和琴小学校の農園活動・収穫祭



学校農園で収穫した農作物で児童が作った料理に舌鼓

この日は、農園で採れたジャガイモ、ニンジン、玉ネギを使い、児童がカレーライスを肉じゃがを調理。農園で採れた枝豆とパンプキンシード（カボチャの種）、メロンと共に振る舞われ、招待された皆さんと児童が一緒に楽しみました。

和琴小学校（鳴海厚校長）で9月15日、児童が育てたメロンの収穫が行われました。同校では学校活動の一環として、敷地内の農園でさまざまな野菜を育てています。メロン栽培には、地域で摩周メロンを生産する金刺登さんの指導・協力の下、15年ほど前から取り組んでいます。今年は13玉実り、この日はそのうちの6玉を収穫。糖度計を使っての測定も行いました。収穫したメロンは、給食の時間においしくいただきました。



慎重にメロンを収穫する児童

町 の 話 題



町 の 話 題

移住希望者をサポート

北海道暮らしフェア2016



移住アドバイザーの話に聴き入る来場者の皆さん



地域おこし協力隊員も実体験をもとにアドバイス

町では今後も、首都圏や関西での移住説明会で相談や情報提供を行うとともに、希望者の方の移住実現へのサポートを行っていきます。

北海道に移住を希望する方を対象とした相談会「北海道暮らしフェア2016（北海道移住促進協議会主催）」に、町も参加しました。今年は、10月9日に大阪会場、10月10日には名古屋会場へ出張し、移住希望者の方の相談の対応や情報提供を行いました。イベントには市町村や企業などが出展。大阪会場には58団体、名古屋会場には37団体が参加し、多くの移住希望者の方が来場しました。

町 の 話 題



町 の 話 題

交通安全に気を付けて

交通安全運動推進協議会による旗の波街頭啓発
明盛建設株による旗の波街頭啓発



安全旗を手に安全運転をPR

道行くドライバーに安全運転を呼び掛ける街頭啓発を行いました。社会貢献活動として、秋の全国交通安全運動期間に合わせ毎年行っています。この日は約40人が参加。旗の波活動を行い、道行くドライバーなどに安全運転を促しました。



メッセージ入りのしおりを手渡し交通安全を呼びかける奥小児童ら

弟子屈町交通安全運動推進協議会（会長・徳永町長）主催の旗の波街頭啓発が、秋の全国交通安全運動初日の9月21日、摩周観光文化センター前の国道391号沿いで行われました。同運動期間（9月21日～30日）に合わせて毎年行われているものです。弟子屈町交通安全協会や女性ドライバークラブ、自治会、老人クラブなどから約80人と奥春別小学校の児童18人が参加。安全旗を振って行き交うドライバーに交通安全を呼びかけたほか、啓発品や同校児童手作りのしおりを手渡して交通事故防止を訴えました。